

# 木曾駒ヶ岳

(きそこまがたけ 2956m)

連日 35 度以上の記録的猛暑日がつづく中、バスはいつもより 30 分早く出発。そのかいあってか駒ヶ岳ロープウェイの千畳敷駅 (2612m) には予定通り到着した。強い日差しながら時々ガスが光を遮り、暑さに閉口していた身には涼風が心地よい。今回は 18 名の参加でリーダーの福手さんを中心に 3 班に分かれて出発◆千畳敷は宝剣岳の白い岩とハイマツの緑が織りなすパレットを背に、高山植物が咲き乱れることで有名だ。歩き始めると早速色とりどりの花が迎えてくれた。この時期は特に黄金色に輝くミヤマキンポウゲやシナノキンバイなどの花が多く、その中にハクサンイチゲやコバイケイソウの白い花がよく目立つ。

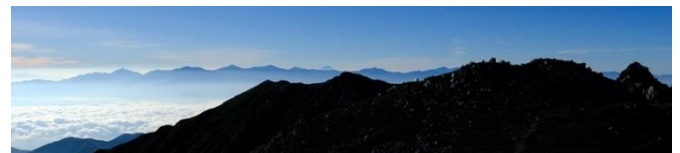


◆山頂からは将棊頭山方面への尾根道を辿り、八合目の分岐で濃ヶ池に向かう。この池は小さなグラウンド程の広さながら水を蓄え、湖面に宝剣岳を映すその姿はポスターなどでよくみかける風景だ。高山植物も豊かだったが、その後の駒飼ノ池まではかなりハードな道のりが待っていた。それでも湧き水にのどを潤し駒飼ノ池に到着し、さらに喘ぎながらも宝剣山荘前へと切り切った。



◆多くの登山者とすれ違いながら標高を増すとやがて浄土乗越に到着。宝剣山荘周辺で昼食とした。その後は中岳を経て今晚宿泊の駒ヶ岳頂上山荘へ。小屋に荷物を置いて駒ヶ岳山頂まで自由散策。この周辺にはコマクサや特産のヒメウスユキソウが多い

◆2日目は、ご来光を拝み朝食を済ませ行動開始。さっそく駒ヶ岳山頂に立つと 360 度の展望が待っていた。アルプスの山々、御岳山、八ヶ岳・・・ここに立つ者だけが味わえる山のだいで味だ。



◆ここまでくると、あとは下山するだけ。そこで相談の上、宝剣岳登頂組と回避組 (4 名) に分かれて行動し、千畳敷駅で合流することにした。山を下り、メンバー全員が駅で再会したのちは、道草もせず一路鶴ヶ島を目指す。大月～八王子間では渋滞となったが、それも山旅の一コマか。

今回川上代表は当初予定の会津駒をに変更して今回の山行を企画準備して下さいました。またリーダーの福手さんはメンバーの体調に合わせたコース設定に、竹内さんは会計や切符の手配などに奔走して下さいました。おかげで全員楽しい山行を満喫し無事帰還しました。



木曾駒山頂からの各方面の山座同定



7月21日：北市セ 5:30→ 八王子 JCT6:00→ 双葉 SA7:35 着 8:00 発→ 駒ヶ根 IC9:20→ 菅の平バスセンター9:45→(バス) シラビ平 10:10→ 千畳敷駅 10:35 着 10:40 発→ 乗越浄土 12:00 (昼食) 12:40→ 中岳 13:00 → 頂上山荘 13:30 着→ 木曾駒ヶ岳山頂付近周遊、夕食 17:00、消灯 20:30。  
 7月22日：ご来光 4:34、朝食 5:00、出発 6:00→ 駒ヶ岳山頂 6:40→ 八合目 (濃ヶ池分岐) 8:30→ 濃ヶ池 8:50 着 (昼食) 9:20 発→ 駒飼ノ池 10:30→ 宝剣山荘 11:20 着 11:50 発→ 千畳敷駅 12:45 着 14:25 発→ しらび平 15:00→ 菅の平バスセンター15:45 着 16:05 発→ 駒ヶ根 IC16:10→ 諏訪 SA16:45 着 17:15 発→ 初狩 PA18:30→ 八王子 JCT20:20→ 鶴ヶ島 IC20:45→ 北市セ 21:05 @20,000 (南雲記)